授業科目	発達臨床心理学演習					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	前期
担当教員	杉本　有紗						
授業概要	本演習では、発達臨床心理学の事例研究を題材に、文献講読演習を行う。 近年、社会の急激な変化の中で、発達支援や心理支援を必要とする子ども・人々が増加している。本演習では、発達臨床心理学の実践研究から事例の分析・グループディスカッションを行い、各事例を通して福祉領域における発達支援や心理支援の在り方について検討することを目的とする。						
授業形態	演習			授業方法	ディスカッション		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．事例研究の基礎を身につけている （1）各事例の発達的特徴や心理的課題の理解に基づき、心理臨床学的支援の意義と課題を説明することができる （2）事例論文の内容について、倫理的に適切に判断し、取り扱うことができる 2．事例研究を客観的に評価し，自分の主張を述べることができる
理想的レベル	1．事例研究を発展させることができる （1）複数の研究成果を分析，検討して，発達臨床のあり方について，意見を表現することができる （2）事例研究から独自の視点を導き，福祉領域での実践と結びつけて考察することができる

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	100%	小レポート、最終レポート
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE31409J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
事例研究論文を講読する。分からない概念や事象がある場合は、調べる。批判的考察を行い、自らの意見を明らかにし、その根拠となる文献を準備する。	4

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション 事例研究とは
第 2 回	事例研究の検討
第 3 回	事例研究の文献講読 1

	「 発達障害の心理臨床事例」の研究を講読する。問題と目的、事例の理解のあり方について検討する。
第 4 回	事例研究の文献講読 2 「 発達障害の心理臨床事例」の研究を講読する。事例の支援のあり方と考察について検討する。
第 5 回	事例研究の文献講読 3 「 学齢期の心理臨床事例」の研究を講読する。問題と目的、事例の理解のあり方について検討する。
第 6 回	事例研究の文献講読 4 「 学齢期の心理臨床事例」の研究を講読する。事例の支援のあり方と考察について検討する。
第 7 回	事例研究の文献講読 5 「 青年期の心理臨床事例」の研究を講読する。問題と目的、事例の理解のあり方について検討する。
第 8 回	事例研究の文献講読 6 「 青年期の心理臨床事例」の研究を講読する。事例の支援のあり方と考察について検討する。
第 9 回	事例研究の文献講読 7 「 中年期の心理臨床事例」の研究を講読する。問題と目的、事例の理解のあり方について検討する。
第 10 回	事例研究の文献講読 8 「 中年期の心理臨床事例」の研究を講読する。事例の支援のあり方と考察について検討する。
第 11 回	事例研究の文献講読 9 「 老年期の心理臨床事例」の研究を講読する。問題と目的、事例の理解のあり方について検討する。
第 12 回	事例研究の文献講読 10 「 老年期の心理臨床事例」の研究を講読する。事例の支援のあり方と考察について検討する。
第 13 回	事例研究の文献講読 11 これまでに講読した事例論文の比較検討を行う。（事例の理解のあり方の点から）
第 14 回	事例研究の文献講読 12 これまでに講読した事例論文の比較検討を行う。（事例の支援のあり方の点から）
第 15 回	まとめ・振り返り
テキスト	特になし
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『発達心理学研究』 『心理臨床学研究』 『教育心理学研究』 『２１の実践から学ぶ臨床発達心理学の実践研究ハンドブック』　臨床発達心理士認定機構・日本発達心理士会（編） データベース　ＣｉＮｉｉ　医学中央雑誌Ｗｅｂ　など
課題に対するフィードバックの方法	小レポートを返却する。

学生へのメッセージ・コメント	『臨床心理学概論』『カウンセリング論』で学ぶ臨床心理学やカウンセリングの基礎知識、『発達心理学Ⅰ』『発達心理学Ⅱ』で学ぶ生涯発達心理学の基礎知識、『発達臨床心理学』で学ぶ発達における障害を抱えた方の理解のし方と援助法についての基礎知識を有していることが望ましい。 資料を何度も読み返すこと，分からないことを放置しないで教員に尋ねることなど，学習の基本が大切です。